

ゴミ箱とダウンロードホルダーにあるデータの自動削除

(バージョン1909)

パソコンのごみ箱やダウンロードフォルダーに保存されたものを定期的に削除するのは面倒で、ついため込んでしまいます。

そこで自動的に削除をする方法を説明します。

使用するのは『ストレージセンサー』で、この機能は2017年から使える機能ですが、使って見える方は多くないと思います。

手順は

1. ストレージセンサーを有効にする
 2. ストレージセンサーの構成を設定する
- です。

1. ストレージセンサーを有効にする

- ① [スタート] ボタン⇒ [設定] ボタンをクリックして設定画面を開きます。
- ② [システム] をクリックして『システム』画面を開きます。
- ③ 『システム』画面の左の柱にある [記憶域 (またはストレージ)] をクリックして『記憶域 (またはストレージ)』画面を開きます。
- ④ スイッチをオンにします。
- ⑤ [ストレージセンサーを構成するか、今すぐ実行する] をクリックして『ストレージセンサーを構成するか、今すぐ実行する』画面を開きます。

2. ストレージセンサーの構成を設定する

『ストレージセンサー』の下にあるスイッチがオンになっていることを確認します。オンになっていなければオンにします。

- ① 『ストレージセンサーを実行するタイミング』の下の枠内の右にある下向き山形をクリックして開くメニューの [毎日] [毎週] [毎月] から自分のパソコンの利用状況に合わせた実行するタイミングをクリックして選択します。
- ② 『ごみ箱に移動してから次の期間が過ぎたファイルを削除する』 (削除してからの期間) 下の枠内の右にある下向き山形をクリックして開くメニューの [許可しない] [1日] [14日間] [30日] [60日] から自分のパソコンの利用状況に合わせた削除する期間をクリックして選択します。
- ③ 『[ダウンロード] ファイルに保存してから次の期間が過ぎたファイルを削除する』下の枠内の右にある下向き山形をクリックして開くメニューの [許可しない] [1日] [14日間] [30日] [60日] から自分のパソコンの利用状況に合わせた削除する期間をクリックして選択します。